**外国籍の教員等で日本語による記入が困難な場合は、英語で記入すること。**

|  |
| --- |
| **参考様式****記入例** |

全　研　究　業　績　一　覧

氏　名　　　○　　○　　○　　○（記名可）　　　　　　　２０１○年○月○日現在

　　【記入上の注意】

* 項目毎に最近のものから順に番号を付す。「研究業績目録」に記載したものは、当該業績の先頭に○印を記入。
* 全研究業績一覧の作成にあたっては本記入例に従うことが望ましいが、研究業績に含まれる項目及び各業績の著者、頁数（○○頁、○○～○○頁）、発行所、発表誌、発表年（月）等が判別できれば、必ずしも本記入例に厳密に従わず、任意の様式を使用しても良い。
* 氏名の体裁は掲載誌に準ずることが望ましいが、各候補者がデータベース等で研究業績を一律に管理している場合、全研究業績一覧の作成のために、氏名の体裁を掲載誌に合わせて修正する必要はない。

　**部局細則等で定める研究業績に該当するものを項目毎に分けて記載する。**

**必要とする項目については部局毎に設定すること。**

**本記入例に記載した項目については例示であり、研究業績に該当しない項目を**

**記載する必要はない。**

１．博士論文

「○○に関する研究」（○○大学○○研究科）、2008年、200頁。

２．著書

○１）筑波花子、茨城太郎、「○○に関する研究」、○○出版社、2014年、330頁。

２）筑波花子、「第○章○○○」（○○編『○○○の研究』○○出版、○○～○○頁）、2010年。

○３）筑波花子、「○○に関する研究」（○○○研究会編『○○の分析』○○大学出版部、○○～○○頁）2013年。

３．査読付学術雑誌論文

　○１）筑波花子、「○○の考察」、○○学会論文集、12巻3号、　[印刷中]。

　○２）Hanako Tsukuba, Taro Ibaraki, “Japan and China, 1900-1910,” *Journal of Asian Studies*, Vol. 2, No. 4, pp. 30-41, April 2013.

４．査読無学術雑誌論文

１）茨城太郎、筑波花子、「○○について」、○○大学文学部『○○紀要』16集、120～145頁、2013年10月。

５．査読付国際会議論文

　○１）Hanako Tsukuba, “On the Disclosure of Diplomatic Records,” *Proceeding of 17th International Congress of East Asian History*, Macao, April 2012, 14 pages【PDF版】.

６．査読無国際会議論文

　　１）…

**参考**

　**部局細則等で定める研究業績には含まれないが、審査の上で特に参考となるもの。**

**外部資金獲得状況を必須項目とし、その他に必要とする項目については部局毎**

**に設定すること。**

（以下の項目は例示。）

　[招待講演等]（招待講演等）

　　１）「○○について」（○○学会第3回年次大会基調講演）、2014年3月、○○大学

　　２）「○○の研究」（○○学会第24回総会招待講演）、2013年8月、○○研究所

　[外部資金獲得状況]

　**※代表で獲得した外部資金を記載すること。**

　代表

１）平成２６年度～平成２８年度　科学研究費補助金　（基盤研究B）

　　　　「○○の研究」

　　　　1,500万円（うち直接経費1,154万円）

２）平成２３年度～平成２５年度　科学研究費補助金　（基盤研究C）

　　　　「○○に関する研究」

　　　　299万円（うち直接経費230万円）

**※分担等で獲得した外部資金の記載は原則として不要である。それでもなお記載する場合は次の例に従うこと。**

　分担

　　１）平成２２年度～平成２４年度　科学研究費補助金　（基盤研究A）

　　　　「○○について」

　　　　分担、195万円（うち直接経費150万円）

　　　　代表：○○○○　総額　3,000万円